

新しい議会がスタートしました

市議会議員選挙後初の議会となる第1回臨時会を5月26日に開催し、正副議長、各委員会委員など議会の構成（7・8頁参照）を決定するとともに、委員会提出議案2件、市長提出議案7件を議決しました。

また、第2回定例会を6月8日から7月1日までの24日間の会期で開催し、初日には東日本大震災への対応として、市内の被害状況、被災者（地）への支援内容、今後の災害対応等に関する行政報告を受けました。一般質問は22名の議員が5日間にわたって行い（2～6頁参照）、本会議では委員会提出議案1件、市長提出議案8件の議案を議決しました。



「一般会計補正予算（第1号）」を 賛成多数で可決

平成23年度一般会計補正予算（第1号）は、東日本大震災に伴い編成替えした「平成23年度一般会計予算」に、市民の生命・健康・福祉を守り、事業再精査による財源を確保することを基本として、市民生活や行政運営の維持継続に資する7月以降の事業費等を計上するものです。

その内容は、歳入歳出それぞれ10億3,550万8千円を追加し、その総額を393億6,464万6千円とし、歳入においては、財政調整基金繰入金8億6,100万円等を増額し、歳出においては、民設民営保育所整備関係経費5,550万円、子宮頸がんワクチン接種等関係経費4,661万円、家具転倒防止器具助成事業関係経費5,424万円、道路新設改良関係経費1億9,000万円等を増額し、中学校空調設置工事関係経費2億2,800万円、国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計繰出金9,987万円等を減額するものです。

本案は、8名で構成する補正予算審査特別委員会（高橋りょう子委員長）に付託し、6月24日から3日間にわたり委員会審査を行いました。

委員会での質疑の概要は以下のとおりです。収支均衡型予算と経常収支比率80%台とする財政健全化計画の実現についての質問に、市長より、震災による経済状況等の財政環境の変化はあるものの、経費削減を図り財政健全化の目標達成を引き続き目指すとの答弁がありました。

これに対し委員より、財政調整基金への依存や臨時財政対策債に頼らぬ財政運営を行うには、必要な事業であっても優先順位により歳出削減を図るべきであるとの意見が示されました。

また具体的な事業に関して、敬老会事業の休止決定の検討経緯についての質問に、生きがい推進事業懇談会へのアンケートでは意見が分かれたものの、震災を踏まえて今年度は休止の判断をした。今後は敬老会を地域で高齢者を見守る仕組みに繋がる事業に再構築したいとの答弁がありました。

子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業については、対象者拡大に伴い、接種回数と国の補助期限を踏まえると対象者への詳細な案内が必要であるとの指摘に対し、先行実施市を参考に通知内容を工夫するとの答弁がありました。

本町四丁目臨時自転車駐車場の指定管理者による事件への対応については、内部調査委員会を設置し、調査の上当該指定管理者の今後の扱いを検討するとともに、事実関係を市民に報告するとの説明がありました。

当初予算計上の小・中学校エアコン設置予算の削除については、国及び都の補助を前提としていたが、国の補助が出ないこととなり、補正予算全体の見直しの観点から見送ることとしたとの答弁がありました。

学校給食に使用される野菜の放射能検査を市独自で行う考えはないかとの質問に、食材については、国の検査で安全性が確認されたものを

提供しているとの答弁があり、委員より、国の暫定基準値は出荷停止のラインであり、放射性物質が子どもたちに与える影響に留意してほしいとの意見が示されました。

委員会では、以上のような多くの質疑が行われた後、賛成少数（賛成2、反対3）で否決しました。しかし、7月1日に開催した本会議では、以下の討論を行った後、賛成多数（賛成12、反対11）により可決しました。

（賛成討論の要旨）市民の安全を守り、暮らしを維持するために不可欠な事業が含まれている予算である。また保育園待機児解消事業など市民が待望する事業や市民生活に影響を及ぼす事業が数多く含まれている予算でもある。（反対討論の要旨）財源確保のみに視点が置かれ、編成方針である市民の生命・健康・福祉を守る予算とは言い難い。既存事業の更なる見直しや収支均衡型の財政運営を目指す視点を欠く予算である。また事業執行上も様々な問題を含む予算である。

「一般会計補正予算（第2号）」は 全員賛成で可決

平成23年度一般会計補正予算（第2号）は、高齢者を熱中症等から守る緊急対策事業及び東日本大震災避難者支援給付金支給事業の経費を計上するもので、委員会、本会議ともに全員賛成により可決しました。

国分寺市議会議員長

井沢 邦夫



この度、議長の大任をお受けすることとなり、その責任の重大さに身の引締まる思いを持つとともに議会改革及び行政改革推進への決意を強くしております。今般の東日本大震災では当市でも市民生活に多大な影響が発生しており、震災時及び緊急時対応の課題が明らかとなりました。また懸案の国分寺駅北口再開発、幹線道路整備、ごみ焼却施設、庁舎建設及び介護施設や保育所の増設など緊急課題が山積しております。一方景気低迷と震災の影響による税収の減少も懸念されます。私はこれらの諸課題を解決し将来に亘って安心できる市政の確立には、市民全体の理解と市の早急かつ着実な行政努力が不可欠と考えます。議会としては市民の立場に立って活発な議論や提案を行うとともに、市民の皆様にも市政、議会に対し関心を深めていただけるよう議会の開催方法や広報手段の充実など「開かれた議会」に向け更に改革を進めてまいります。

就任にあたって

国分寺市議会副議長

木村 徳

いさお



冒頭、東日本大震災にあたり、犠牲になられた方のご冥福と、被災された皆様にも衷心よりお見舞い申し上げます。

この度、改選前に引き続き副議長の大任を仰せつかることとなりました。

現下の国分寺市政は、震災対策は言うまでもなく、今後更に悪化が懸念される極めて厳しい財政状況の中で、国分寺駅北口再開発やごみ焼却施設等をはじめ、多くの重要政策課題を抱えております。

申し上げるまでもなく議会は議論をする場であり、議決機関です。しかしそれらは行政をチェックするための議論であり、チェックの結果としての議決であると強く認識しています。その意味で議会の役割は一層大きなものとなっています。

これまでの副議長の経験を最大限活かし、議会の役割を最大限発揮しつつ、井沢議長共々議会改革を推進し、円滑な議会運営に尽力していくことをお約束し、ご挨拶とさせていただきます。